

(様式1)

# 令和6年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立隅田小学校
校長名	藤井 洋子

## 1 本校の学力に関する状況

### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・国語科では、主体的に学習に取り組む態度の観点において全学年で全国平均及び目標値を上回っている。</li><li>・算数科では、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度の観点において、ほぼすべての学年で目標値を上回っている。</li><li>・理科では、知識・技能の観点に全学年で全国平均を上回っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会科では、4年、6年生が知識・技能の観点で全国平均を下回る数値である。この結果は、思考・判断・表現の観点にも影響していると考えられる。</li><li>・同一集団の成長の過程から、学年が上がるごとに学力が低下する傾向にある。</li><li>・文章（問題・資料）の読み取りに特に課題があり、すべて解き終えることができない児童が多い。</li></ul>

### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・「いじめのサイン」がほとんどの学年で全国値を超えていることから、児童は比較的安心して学校生活を送っていると考えられる。</li><li>・学習環境の数値が高い学年ほど学習状況調査の結果が高い傾向にある。</li><li>・クラス替えのあった3年、5年で学級環境の数値が高くなる傾向にあり、持ち上がりの4年、6年の数値は全国値と同数値程度になっていることからクラス替えにより、気持ちの切り替えが影響していると考えられる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・生活・学習習慣の数値が全国値に対して同数、もしくは低い数値になっている。また、学年が上がるごとに数値が低くなる傾向にある。</li><li>・社会性、特に規範意識が低い。学力向上のためにも話を聞く態度、学習の準備など学習規律を整えていくことが必要である。</li></ul>

### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・いずれの教科においても、タブレット端末や大画面のモニタ等のICTを活用した指導法が充実してきた。</li><li>・生活・学習環境が適切に整えられている学年は、学習の定着率も高い。</li><li>・ふり返しシートや学力調査の過去問題、自作の類似問題等に取り組み、対策を講じることがで</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・過去問題の実施はできていても、問題解説をする時間が十分に確保できず、学習内容の定着が不十分である。</li><li>・知識・技能を繰り返して学習することだけでなく、その知識・技能を生かした学習へ進めていくこと。</li></ul>

きた。その結果として、6年国語や理科の知識・技能で正答率が上がった。	
------------------------------------	--

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 確かな学力の定着

- ① 計画的で分かりやすい授業づくり
  - ・「学習のきまり」に基づき基本的な授業展開を統一する。めあての提示・自力解決・友達との共有・問題の演習・まとめ・振り返りの内容で構成した授業を全学年で展開する。
  - ・既習学習の習熟の理解をより確実にするために、授業の前後に振り返りシートを活用する。
- ② 補習教室の実施
  - ・主にCD層児童を対象とした少人数体制での補習教室を放課後及び夏季休業中に実施する。算数科を中心とし、習熟が不十分な内容を繰り返し取り組ませることで定着を図る。
- ③ 全校漢字計算テストの実施
  - ・年に3回、全校漢字計算テスト実施して、基礎基本を徹底する。(東京ベーシックドリルの活用)

### (2) 授業力向上・授業改善

- ① 教員の相互参観授業・OJTの実施
  - ・教員をチームに分け、相互に授業を参観する。年に3回相互参観の時間を設定し、チーム内でめあてを立てて成果と課題、改善策について検討する。
- ② 校内研究の推進と展開
  - ・研究主題「自分の思いや考えを形成し、分かりやすく表現できる児童の育成」に向けて研究授業を進めている。
  - ・校内研究では、授業を行う学年だけでなく全教員で課題を検討したり、指導案を検討したりすることで、児童の学びのプロセスを明確にして、授業を展開する。
- ③ ICT機器の活用
  - ・ロイロノートを中心とした学習支援アプリを積極的に活用していく。特に、ロイロノートでは、テストを作成し、単元テストや学力調査前にも活用する。

### (3) 学習習慣定着への取組

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」による規則正しい生活習慣、「家庭学習の手引き」に基づいた家庭学習習慣確立のさらなる呼びかけ。
- ② 児童による学習の振り返りと課題の設定
  - ・学習状況調査や、単元テストを返却する際に振り返りの時間を確保する。
- ③ 個別指導の充実
  - ・放課後補習教室やSSTを活用して、学習習慣定着に向け個別指導を行う。

### 3 「令和7年度 墨田区学習状況調査」における目標

#### (1) 目標

- ・全学年において全観点が全国平均を上回る。
- ・各学年、国語、理科、社会におけるCDE層40%以下、算数、英語におけるCDE層35%以下にする。